

2015 年度私立大学図書館協会西地区部会

東海地区協議会総会 議事要録

日時：2015 年 5 月 22 日（金） 10 時 30 分～11 時 40 分

場所：名古屋学院大学 名古屋キャンパス 白鳥学舎 希館 511 会議室

出席：25 館 35 名 （委任状提出館 23 館）

※私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会則第 8 条 2 項により、本総会成立。

議事に先立ち、理事校名古屋学院大学学術情報センター長（三井）より、開会の挨拶があった。

【議長選出】

理事校名古屋学院大学学術情報センター長（三井）が議長に選出され、下記の議事を協議した。

【議事】

[報告事項]

1. 2014 年度東海地区協議会事業報告

前理事校中部大学(菫島)より、総会資料(p. 4-6)に基づき、昨年度は総会および 3 回の常任幹事会が行われたとの報告があり、常任幹事会での報告事項、協議事項について説明があった。

2. 2014 年度東海地区協議会研究会事業報告

前研究会委員長校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 7-9)に基づき、運営委員会と各担当者会議の活動について、また、2 回の研究会、実務担当者研修会、および館灯の発行について報告があった。

3. 2014 年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議報告

前幹事校中部大学(菫島)より、総会資料(p. 10)に基づき、運営委員会および会議について報告があった。

4. 2014 年度協会会務報告

(1) 協会関係事項報告

1) 加盟校等及び協会役員校、委員会及び協会関連団体委員

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 11-14)に基づき報告があった。

このほか、2015 年 4 月 1 日以降の変更として、愛知東邦大学図書館が愛知東邦大学学術情報センターに、鈴鹿国際大学図書館が鈴鹿大学図書館に館名変更、日本福祉大学附属図書館東海分館が新たに設置されたとの報告があった。

2) 2014 年度委員会報告

① 協会賞審査委員会

前委員校名古屋学院大学(矢澤)より、総会資料(p. 15)に基づき報告があった。2014 年度は 3 件の推薦のうち 2 件が採択された。採択された業績について説明があった。

② 研究助成委員会

前委員校愛知学院大学(足立)より、総会資料(p. 15-16)に基づき報告があった。2014 年度は 3 件申請があり 2 件が採択された。採択の経緯について説明があった。

③ 国際図書館協力委員会

前委員校中部大学(蓑島)より、総会資料(p. 16-19)に基づき報告があった。実施事業として寄贈図書搬送事業、海外派遣研修、海外集合研修、海外認定研修について説明があった。また、2014年度国際図書館協力シンポジウムは、2014年度末まで動画配信したとの報告があった。

④ 協会ホームページ委員会

前委員校南山大学(関谷)より、総会資料(p. 19-20)に基づき報告があった。委員会では、協会HPの一層の整備、総会申込みのWeb化など充実に図り、また委員会の規模縮小、委託業務の拡充を提言した。2015年度は情報発信の企画立案集団という位置づけになるとの説明があった。

3) 私立大学図書館協会 2015年度西地区部会総会及び研究会について

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 21-22)に基づき報告があった。

4) 第76回(2015年度)私立大学図書館協会総会・研究大会について

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 23)に基づき報告があった。

(2) 協会関連事項報告

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 24-25)に基づき報告があった。

5. その他

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 26)に掲載のとおり、『館灯』投稿、編集及び公開に係る申し合わせ事項』について一部改正したとの報告があった。

[審議事項]

1. 2014年度東海地区協議会決算(案)および監査報告

前理事校中部大学(稲垣)より、総会資料(p. 27-29)に基づき、協議会決算(案)について説明があった。

次に前研究会委員長校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 30)に基づき、研究会決算(案)について説明があった。

引き続き前幹事校中部大学(稲垣)より、総会資料(p. 30)に基づき、図書館管理・運営実務責任者会議決算(案)について説明があった。

続けて、前年度監事校中京大学(渡辺)より、総会資料(p. 31)に基づき、決算(案)について4月17日に会計監査が行なわれ、適正であると認められたとの報告があった。

以上、決算(案)は承認された。

2. 2015年度東海地区協議会役員校および委員校(案)

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 32)に基づき2015年度役員校および委員校について説明があり、承認された。とくに、今年度は主幹事校担当予定大学が事情により委員を受けられないことから、愛知大学が委員長校と主幹事校を兼務するとの説明があった。

3. 2015年度東海地区協議会事業計画(案)

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 33)に基づき計画(案)のとおり実施したいとの説明があり、承認された。併せて協会ならびに関連団体の主な行事予定が紹介された。

4. 2015年度東海地区協議会予算(案)

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 34-36)に基づき説明があり、承認された。

主な点は次のとおりである。

〈収入の部〉

- ・地区協議会交付金については、今年度のみ10万円増額されるものである。

〈支出の部〉

- ・総会費については、今年度は講演会がないため減額となっている。
- ・研究会支援費は、見学会実施の年であり今回は貸切バスを利用するため、また、研究会費も10万円増額していることから、一昨年、昨年より増額となっている。

なお、次年度繰越金が多いことについては今後常任幹事会で検討していきたいとの説明があった。

5. 2015年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算(案)

研究会運営委員会委員長校愛知大学(中村)より、総会資料(p. 37-38)に基づき、事業計画(案)と予算(案)について説明があり、承認された。

6. 2015年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業計画ならびに予算(案)

幹事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 39)に基づき、事業計画(案)と予算(案)について説明があり、承認された。

7. 2015年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校・役員校・

当番校等について(案)

理事校名古屋学院大学(中田)より、総会資料(p. 40-42)に基づき、2015年度以降の東海地区協議会役員校等について説明があり、承認された。

なお、(3)2015年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会役員校・当番校に関して、西地区部会研究会当番校(2020年度)・私大図協総会会場校(2021年度)・西地区部会総会会場校(2023年度)は東海地区で決める必要がある、私大図協東海地区協議会研究会幹事校の主幹事校については名簿順によるローテーションが一巡するため2023年度以降を未定としたが、今後主幹事校業務の分担も含め見直して決めたい、東海地区大学図書館協議会運営委員校の2022年度以降の未定部分は、静岡県の私大が運営委員校を担当することも含めて名古屋大学と調整中である、との説明があった。

以上